

## IV 畜産の補助に関する業務

### 1 学校給食用牛乳供給事業に対する補助

#### (1) 学校給食用牛乳供給事業

学校給食用牛乳供給事業では、安全で品質の高い国内産の牛乳を学校給食用に年間を通じて計画的かつ効率的に供給することを推進するため、その供給の合理化、消費量の拡大等を図る取り組みに要する経費を補助している。

#### (メニュー事業方式の実施状況)

平成12年度から導入したメニュー方式の事業内容は、次のとおりであり、平成20年度は16億5,053万円の補助金を交付した。

##### ① 学校給食用牛乳の供給の合理化

供給経費の低減等を図るための設備機器の整備、衛生管理強化の推進等に要する経費の補助

##### ② 学校給食用牛乳の安定的需要の確保

供給条件の不利な地域における輸送費等の経費の負担を軽減するための補助

##### ③ 学校給食用牛乳の消費の維持拡大

消費の拡大等を図るための大型容器での飲用、新規飲用に対する奨励金の交付及び学校給食用牛乳に係る安全・安心の確保、食育等地域の実情に応じた取り組みに要する経費や児童・生徒及び保護者に対する啓発資料等の作成に要する経費の補助

#### (2) 学校給食用牛乳消費定着促進事業

学校給食における牛乳飲用を通じて、牛乳飲用習慣の定着を図ることを目的とし、牛乳に関する正しい知識の普及を図るため、学校給食用牛乳供給事業を実施している中学校への壁掛けタイプのポスター配布や、ふれあい支援牧場等育成のためのネットワークの構築等の事業に対し、1億2,920万円の補助金を交付した。

### 2 畜産業振興事業に対する補助

平成20年度に実施した畜産業振興事業は、55事業122,362百万円(19年度からの予算繰越分2事業220百万円を含む。)であり、対策別のその主な事業内容等は次のとおりである。

#### (1) 畜産・酪農農家の経営に対する緊急対策

##### ① 酪農家支援のための緊急対策

生産性向上のための取り組みを実施する都府県酪農家に対する支援、飲用牛乳向け減少に係る「とも補償」への支援、液状乳製品・チーズ・発酵乳向け生乳の供給量の拡大支援、乳用牛の遺伝的能力向上の推進と改良集団への支援及び飼料基盤に立脚した環境調和型酪農経営への支援など、都府県酪農緊急経営強化対策事業等7事業(26,084百万円)を実施した。

##### ② 肉用牛農家支援のための緊急対策

肉用牛肥育経営に対して物財費割れの肉用牛肥育経営への緊急・時限的な支援、肉用牛生産性向上のための取り組みを実施する肉用牛経営への支援、肉用繁殖雌牛の増

頭等に資する対策への支援など、肥育牛生産者収益性低下緊急対策事業等3事業（13,903百万円）を実施した。

③ 養豚農家支援のための緊急対策

道府県単位の肉豚価格差補てん事業への支援、豚生産性向上のための取り組みを実施する養豚経営への支援、地域の種豚改良及び未利用資源等を活用した銘柄豚生産等の推進など、肉豚価格差補てん緊急支援特別対策事業等3事業（2,622百万円）を実施した。

④ 畜産・酪農農家支援のための緊急融資対策等

配合飼料価格の上昇に対応する飼料購入資金の融通への支援の継続、生産性向上に必要な機械等を畜産農家等が購入する費用への支援（1/3 リース）、大家畜経営、養豚経営の負債対策の継続・拡充、生産者の生産コストの上昇に関する消費者理解醸成に係る活動への支援など、家畜飼料特別支援資金融通事業等9事業（6,953百万円）を実施した。

⑤ 自給飼料基盤強化のための緊急対策

未活用資源の飼料利用を含めた国産粗飼料の利用拡大促進として、国産飼料資源活用促進総合対策事業（2,041百万円）を実施した。

(2) 一般対策

① 酪農関係対策

酪農ヘルパーの利用拡大の推進、牛乳・乳製品の消費拡大対策、廃止工場対策等への支援、加工原料乳生産者経営安定対策など、加工原料乳生産者経営安定対策事業等5事業（916百万円）を実施した。

② 肉用牛関係対策

子牛価格低落時の繁殖雌牛頭数の拡大者等に対する奨励金の交付、肉用牛肥育経営安定対策など、肉用牛肥育経営安定対策事業等2事業（16,878百万円）を実施した。

③ 環境対策

農家等がたい肥の調整等を行うために必要な機械施設の購入支援や、排せつ物高度利用の普及の礎となる実証畜の整備等の促進として、家畜排せつ物利活用推進事業（2,809百万円）を実施した。

④ 食肉流通等対策

衛生対策等総合的な食肉流通施設整備支援の継続及び輸出施設整備への支援、また、国産食肉の需要割合の拡大の推進、豚肉骨粉の利用拡大の推進など、食肉等流通合理化総合対策事業等8事業（3,823百万円）を実施した。

⑤ BSE関連対策

BSE発生農家等の経営再建支援や、畜産残さのレンダリング処理及びこれにより製造された肉骨粉を焼却処分するのを支援する肉骨粉適正処分緊急対策事業等2事業（6,692百万円）を実施した。

⑥ その他

雌雄判別受精卵等の効率活用の推進及び新たな家畜飼養管理国際基準等への対応の推進や、口蹄疫、豚コレラ、高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備えるための互助基金制度の支援など、高病原性鳥インフルエンザ防疫強化緊急対策事業等6事業（445百万円）を実施した。

(3) 追加緊急対策

① 配合飼料価格安定制度の安定運用

通常補てん基金への補てん財源の貸し付けとして、配合飼料価格安定基金運営円滑化事業(29,196百万円)を実施した。

② 畜種別の緊急経営安定対策

北海道酪農経営・肉用子牛経営・肥育牛経営・肉豚経営の生産性向上等の推進による経営安定への支援など、北海道酪農緊急経営強化対策事業等4事業(4,830百万円)を実施した。

③ その他対策

自給飼料の生産効率向上のために必要な機械等の導入の支援として、自給飼料生産効率向上支援リース事業(4,950百万円)を実施した。

(4) 予算繰越分

上記のほか、前年度からの予算繰越分(国産牛肉市場開拓緊急対策事業等2事業(220百万円))を実施した。